

# 花沢アイクリニック通信

第49号  
H26年12月



## 目薬のおはなし2



こんにちは。院長の梅津由子です。

目薬の話2回目の今回は、いろいろな目薬に共通しておきる副作用のお話しです。

ほとんどの目薬は、飲み薬よりは副作用が少なく、一般的に安全性は高いと考えて問題ありませんが、副作用が皆無というわけではありません。

### ●角膜障害

目薬にはたいてい防腐剤が入っています。さしているうちまつげに触ったりして細菌が中に入るからです。現在、ベンザルコニウムという防腐剤が、多くの目薬に使われています。ベンザルコニウムは強力な反面、角膜障害(=角膜のキズ)をおこしやすいという難点があります。もともと健康な角膜の人には何でもなくても、ドライアイだったり高齢だったり眼科手術後だったりすると、防腐剤が角膜に障害を与える原因となってしまいます。このような場合、それまでの目薬を中止し、防腐剤の入っていない目薬だけ使うことになります。防腐剤が全く入っていない目薬は、封を開けたら約1週間で廃棄するものや、1回分ずつの小分けにされているものになります。

### ●目薬で目のまわりがただれる

目薬を使っていると、目のまわりがかゆくなったり赤くなったりすることがあります。これには2つの要因が考えられます。

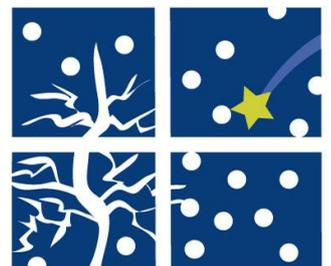
第1に、目薬の成分に対するアレルギーがあります。要するに目薬が合わないわけです。この場合は、合わない目薬をやめて別の目薬に変えれば改善します。

第2に、目薬でまぶたが常時濡れているため、細菌が増殖してトラブルをおこす場合です。どんな目薬でもおこりますし、涙があふれても同じことがおこります。まぶたに炎症止めの軟膏を塗ることで対処しますが、そうならないように目薬のつけすぎに注意することも必要です。

### ●しみる／刺激がある

目薬がしみてさしにくいということもよくあります。

しみるかどうかは目薬のpHによってほとんど決まります。酸性だったりアルカリ性だったりすればしみます。中性だとしみません。また、角膜にキズがあると、しみたり痛くなったりすることが多くなります。多少しみても、点眼直後だけであれば、普通は目に害はありませんのであまり気にしなくてよいでしょう。



Merry Christmas

# 目玉いきいきライフ

目玉いきいきライフのコーナーでは、目の健康に関する情報や、耳より情報（眼科だけどっ）をお届けします。

## 3Dのしくみ

最近、3Dの映画やテレビなどたくさん出てきましたよね。今までよりも迫力ある映像でよりリアルに楽しむことができるようになりました。

どうして2次元の映像が飛び出したり、立体的に見えたりと感ずるのでしょうか？私たちは2つの目で1つの物を見ていますが、実は、右目で見たとときと左目で見たとときの映像は少し違います。右目から見る角度と左目から見る角度が違っているからです。①～③の写真は同じ場所から①は左目だけで②は右目だけで③は両目で見たとときのイメージ映像です。同じ場所から見ているのに、3枚の写真は見える目薬の位置が違うのがわかりますよね。私たちは普段、①のような左目の映像と②のような右目の映像を同時に見ていて、頭の中でひとつにまとめて③のような状態



で見ているため、立体的に見えています。

遠くのものとは近くのものではどうでしょう。①と②の映像を比べてみると、奥の青い目薬はずれが小さく、手前の赤い目薬はずれが大きくなります。このように、遠くにあるものは小さなずれ、近くにあるものは大きなずれになることで遠近感覚がわかります。

3D映像はこれを利用してできています。3D映像を、3D専用の眼鏡をかけないで見るとダブってとても見づらいですよね。右目で見るとの映像と、左目で見るとの映像がひとつの画面に描かれているためです。その映像には、小さくずれているところと大きくずれているところがあり、大きくずれていればずれているほど飛び出して見えるところになります。

そのダブった映像を、右目の映像は右目だけにうつるように、左目の映像は左目だけにうつるようにするのが3D専用の眼鏡です。それをかけ、私たちの頭の中でひとつにまとめれば立体映像の完成です。

こんなことも考えながら見るとまた違った3Dが楽しめるかもしれませんね♪

このたび、3D専用の眼鏡をかけて楽しめる本を、待合室の本棚に置きました。皆さん是非試してみてくださいね！

メ！☆ク！&良いお年を…  
めだまいきいきライフ！！



### 編集後記

もうすぐクリスマスですね。今年も恒例のクリスマスツリーを待合室に飾りましたので、ご来院の際はぜひご覧ください！

また、年末は何かと忙しく、体調を崩しやすい時期ですので、くれぐれも体調に気をつけてお過ごしください。それでは、良いお年を！

ビビ・プッチ・まめちよ